

中日病院
だより

近年、従来の糖尿病治療薬とは大きく異なるメカニズムで血糖を下げる新薬が続々と登場し、血糖コントロールは格段に向かっています。腸のホルモンを利用した薬(DPP-IV阻害剤、GLP-1製剤)は、従来の治療に比べ低血糖などの副作用が少なく、高齢者でも比較的安全に使うことができます。また、過剰な糖を尿から排せつさせる新薬(SGLT-2阻害剤)は、血糖値を下げる効果とともに体重減少

⑯ 新薬続々登場(糖尿病内科)

の実績もあります。
いろいろな薬が出てきたことで、治療薬の選択肢は爆発的に増えました。ただ、体质で合つ、



合わないがあり、合併症で使いにくい薬もあります。主治医と相談しながら自分に合った薬を見つけることが大切です。

一方、膵臓の機能が落ちているときは飲み薬を漫然と続けず、早めにインスリン導入が勧めら

血糖を下げる効果が高い薬が続々登場し治療の選択肢が増えている=名古屋市中区の中日病院で

す。以前は、インスリン治療は血糖コントロールがうまくいかない場合の最後の手段とされていましたが、現在は膵臓保護のためにも早期の積極的なインスリン導入が勧められています。糖尿病治療のゴールは合併症を起こさないことです。食事、運動療法を行った上で、適切な薬を使いましょう。

（関谷佳代糖尿病内科部長・談）

血糖制御は格段に向上